

6月 急ぐほど 狭まる視野と 増すリスク

「令和8年 交通事故防止実践スローガン」

ゆとりある運転を！



渋滞等による焦りやイライラは交通事故の原因になります。

時間にゆとりをもった運転と徹底した安全確認の実施で交通事故防止に努めましょう

- ① 時間に余裕を持って出発する
- ② 車間距離を空ける
- ③ 疲れを感じる前に休憩を取る

ゆとりある運転で事故防止！



これから梅雨の時期です



梅雨時の交通事故防止

● 左右の安全確認を十分にしましょう。

傘やかっぱを使用する時は、普段よりも視界が狭まります。

● 目立つ服装をしましょう。

梅雨時、歩行者は運転者から見えづらくなります。運転者から見やすい服装、反射材、夜光チョッキを活用することで事故防止につながります。



● 速度を落とし、車間距離をとりましょう。

雨天時には、ブレーキをかけてから停止するまでの距離が路面乾燥時よりも長くなります。速度を落とし、車間距離を十分に取らしましょう。

● 「急」が付く運転はしないようにしましょう。

「急加速」「急ハンドル」「急ブレーキ」

今、行動のとき

交通安全「私から！」



指差し確認

早めの点灯

シートベルト

